

経験年数・職位目安	育成するコア能力	到達目標	行動目標	保健師に求められる専門能力								目標設定		最終評価						
				企画立案能力	調査情報収集能力	保健事業運営能力	個人・家族・集団・地域支援能力	健康管理能力	健康危機管理	社会資源開発能力	連携・調整能力	事業・政策評価能力	人材育成能力	具体的な目標	達成方法	評価	評価次期に向けて	管理指導者コメント		
21年以上（主査・副主幹）	保健所及び管内の事例、保健事業に対するスーパーバイズ	1 2 複雑困難な計画策定（事例）の組織的・主体的な情報収集と分析の活用、スーパーバイズができる	①後輩や同僚の活動に対し、スーパーバイズができる																	
			②複雑困難な事例への対応についてスーパーバイズができる																	
			③自助グループ等住民主体の活動の育成・支援についてスーパーバイズができる																	
			④支援の過程で必要なスーパーバイズやコンサルテーションを受けられる体制を上司と共に作ることができる																	
			⑤研究計画の立案・研究遂行の助言ができる																	
			⑥平常時の活動と危機対応時の活動の連動性を理解し指示が出せる																	
			⑦危機対応時の判断に必要な情報収集の指示ができる																	
			⑧長期的かつ包括的な視点から地域の健康課題を見通した事業計画策定の助言ができる																	
			⑨組織内において事業計画の共有・検討ができる体制を上司と共に整えることができる																	
			⑩地域包括ケアシステムを推進するために必要な連携体制の構築をリードしていくことができる																	
			⑪客観的データをもとに広域的な地域診断ができ、市町村の事業評価に対し助言・指導ができる																	
			⑫今後新たに開発や改善が必要となる地域に不足する社会資源について提言し、実現に向けた取り組みが実施できる																	
			⑬地域特性に応じた目標設定・評価指標により計画の進捗状況を確認しながら課題を明確にすることができる。																	

※到達度は5段階で評価する
 5 達成している(助言なし、または少しの助言で発展させることができる)
 4 ほぼ達成(具体的な助言により達成できる)
 3 課題が残る(具体的な助言を繰り返すことのできる)
 2 達成できない(具体的な助言を繰り返しても不十分)
 1 体験する機会がない